ERP検討ステップ診断シート

あなたの会社は、ERP導入に適したタイミングか？

業務はなんとなく回っている。
でも将来の成長や変化に備えるには、今のままで良いのか不安——
そんな声を、数多く聞いてきました。

このチェックシートは、

ERP導入の「必要性」「優先度」「準備度」の3軸から

自社の状況を簡単に診断できるシンプルなツールです。

わずか5分で、経営者・情報システム責任者の「次の一歩」が見えてきます。
早速、次ページの診断項目をチェックしてみてください

診断項目(1/2)

1 : 導入の【必要性】チェック (Yes/No)

- ①社内に属人化している業務が多く、ブラックボックス化している部分がある
 Yes / No
- ②経営判断に使うデータが、部門ごとにバラバラで統一されていない
 Yes / No
- ③将来の事業展開(新市場・海外展開など)に向けて、現在の基幹業務システムでは限界を感じている
 Yes / No

2 : 【優先度】チェック (1~5のスコア)

- ①現行システムの保守・更新費用が増加しており、投資対効果が見合わなくなってきた
スコア： 1 2 3 4 5
- ②経営層から「DX」や「業務の標準化」についての指示・方針が出ている
スコア： 1 2 3 4 5

診断項目(2/2)

3 : 【準備度】チェック (Yes/No)

- ①全社的に「業務を標準化する」必要性について共通認識がある
 Yes / No
- ②ERP導入に向けた簡易プロジェクト体制（関係者選定・キーパーソン）がイメージできる
 Yes / No

結果について

****Yesの数が多く、スコアが高いほど「今がERP導入検討のタイミング」**です**

特に「必要性」と「準備度」が整っている場合、システムを業務に合わせるFit to Standard型の導入アプローチが有効です。(Fit to Standardについては、この連載でご紹介していきます)

また、そうでない場合でも、将来に向けての変革を検討されている方は、是非一緒にチャレンジをしてみませんか。

弊社へのご連絡をお待ちしております。

長野日本ソフトウェア システム営業部
contact@nsk-japan.co.jp